

# 令和6年度 企業版ふるさと納税活用事業 実施報告

人に恋する、地域を愛するプロジェクト

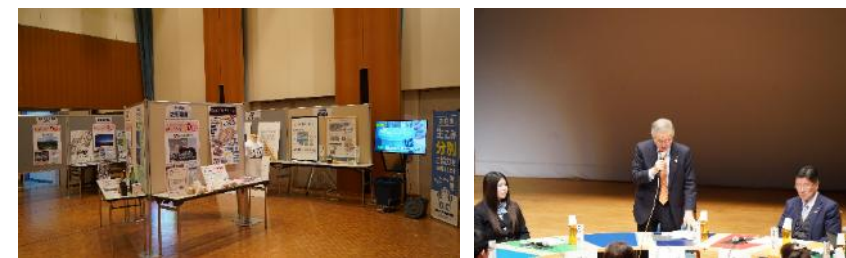


# 持続可能な未来杜市推進事業

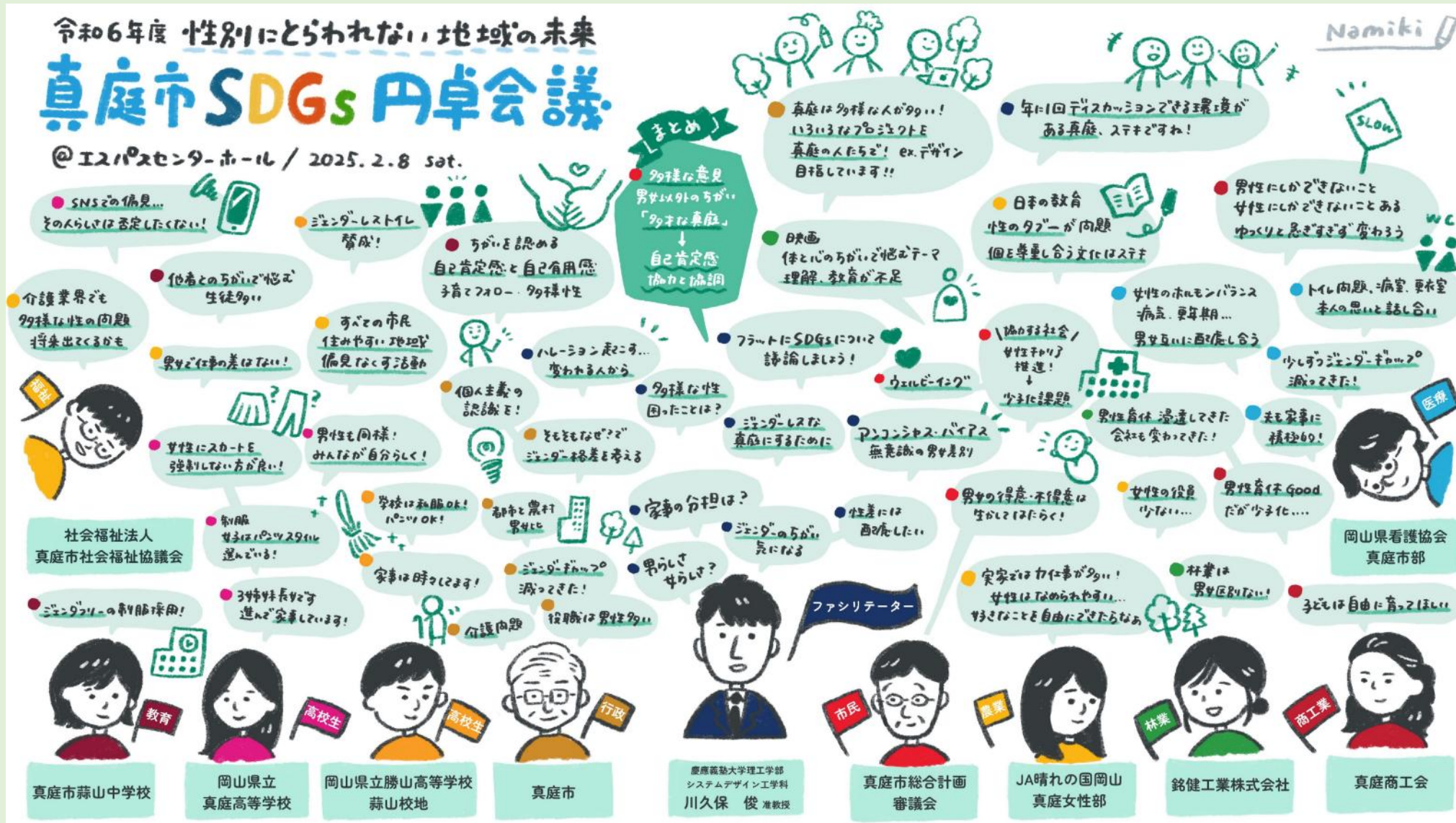
CENTRAL 真  
GARDEN 庭  
MANIWA 市

## 令和6年度 真庭SDGs円卓会議

- 日時 令和7年2月8日（土）13:30～16:30
- 場所 エスパスホール（真庭市鍋屋17-1）
- 参加者 会場約100名  
YouTube視聴者数（当日再生回数）151回  
MIT生放送多数
- テーマ 「多様性を生かす社会をつくる行動」
- 内容
  - ・基調講演 慶應義塾大学 川久保准教授
  - ・取組発表（真庭高等学校、株式会社フィノバレー、真庭商工会 女性部）
  - ・円卓会議（ディスカッション）  
グラフィックレコード（視覚記録）による総括
  - ・SDGsパネル展示  
SDGsパートナー、市内高校、連携中枢都市など



## ■ 開催結果概要（グラフィックレコード（視覚記録）による総括）





・山陽新聞にて特集記事 掲載  
(令和7年3月23日)

配信

令和6年度 真庭SDGs円卓会議

SDGs（持続可能な開発目標）の推進を目指す真庭市内外の企業や団体でつくる「真庭SDGs円卓会議」の会合が2月8日、同市鍋屋のエスパホールで開催された。6回目の今回は「多様性を生かす社会をつくる行動」がテーマ。参加者は開会発表や基調講演、ディスカッションを通じ、それぞれの立場や世代を超えて、男女平等やジ



エンゲージレスなどについて議論を深めた。司会は勝山高校2年の野村悠太さん、真庭高校2年の青木彩音さんが務め、受付なども地元高校生が行った。円卓会議は2019年10月に発足。構成メンバーの「真庭S D G s パートナー」には、3月3日現在で計754の団体・企業・個人が登録している。

＜企画・制作／山陽新聞社広報本部＞

### 事例発表



真庭高等学校  
「竹害対策」

放置竹林による「竹害」防止のために竹の活用方法を研究。竹パウダーでは防草・土壌改良・消臭効果を確認した。パイオ液肥と混合し、肥料・土壌改良効果を得られる商品「真庭パイオアースター」も開発した。事業案では住民が竹を伐採して事業会社に持ち込み、竹パウダー商品を製造、販売する。また真庭市が行う生ごみなどのパイオ液肥化事業にも活用する。地域経済の循環につなげてほしい。

株式会社フィノバレー  
「まにあふり」



2023年1月にサービスを開始した真庭市のデジタル半紙通貨「まにこいん」は、現在市民の半数が利用している。今年1月には「まにこいん」にさまざまな機能を追加した「まにあぶり」をスタートさせた。決済機能に加えて暮らしや子育て、健康、交通、観光といった多分野の情報を得ることができ、またマイナンバー認証などため、今後は行政手続きの電子申請などにも対応でき、

真庭商工会 女性部  
資源循環の取り組み



SDGs活動に取り組み、環境美化やごみ分別の普及啓発を行っている。毎夏開催される落合納涼花火大会はごみ問題で苦労していたが、昨年はごみ箱を設けず持ち帰りを呼びかけたところ大幅な減量化に成功した。真庭市では1月から生ごみの分別が本格的に始まった。各家庭から収集した生ごみは施設でメタン発酵され、バイオ液肥に生まれ変わり資源循環する。全国に誇れる取り組みだ。

## ディスカッション 「多様性を生かす社会をつくる行動」

大月 隆行氏	真庭市総合計画審議会、共同代表
稲田 晴江氏	J A 晴れの国岡山 真庭女性部
岩田 尚子氏	銘建工業株式会社
二若 仁美氏	真庭商工会 女性部
長屋由美子氏	岡山県看護協会 真庭支部



円卓を囲み熱心に意見交換する出席者



円卓会議の内容を視覚的に記録したグラフィックレコード。ディスカッション後に披露された。今回初の試みで、グラフィックレコーダー松野真希氏が担当した。

すといひのが基本世態、偏見や差別について地域や舌話しながら活動したい。石原 学校でもLGBTの人が安心して生活できるようなことはない。

横野 SNSで二男の人がかわいひがわいひをいふと否定的なコメントがくることもある。相手は傷つてくることを言わぬといふに気がつく。

大月 多彩な真顔とうごこで、地域それぞれの良点、強み各組と合わせ、地域をつつていこうとウェビナリインな地域ができていく。

川久保 多様性を大にすると重要要素なのは、想像力と二人一人の成熟だ。それぞれが行動し、相手する思いを急がされながら行動することが重要だ。

## 基調講演

慶應義塾大学理工学部  
システムデザイン工学科准教授  
川久保 俊



## 真庭の事例再び世界に発信

の自己化により、SDGｓの課題を地域レベルにしたががローカルSDGｓだ。真庭市は2022年度に既にローカルSDGｓアクションリストを200個以上策定しており、国内最先端といえる。

SDGｓは自治体の役割が取り組み、住民の認知度も9割超と高いが、実態が伴っておらず、このままでは2030年での目標達成がままならない。30年の中

間目標と、さらに持続可能な地域開発を推進していかなければならない。そのために大切なのが、企業や市民、大学の持つコア・コンピテンシーの確立と自指すササニブリット・リテラシーの確立である（S&M）という考え方だ。専断でも30年以降に向けて準備を進めてほしい。

昨秋開催された国連の未来ササニブリットでは、生成AIを法的に取り入れながらササニブリットな社会をつくる方法が議論された。真摯の取り組みは、4年前に取組まれたVNR（自発的な国家レビュー）と世界に成功事例が数個あるという一度真摯な全国、世界に向けての協力事例が数個あったことを願っている。

理解深め一人一人成熟を

合谷石原横  
品和氏一希氏  
庭市立社会福祉協議会  
真庭市立西井中学校 養護教諭  
岡山県立山崎高等学校 校長 2年  
岡山県立高倉高等学

人が円卓を囲んで意見を交わった。受中敬徳郎

川久保 まつさ、女は3について  
家庭で職場で気づくこと。私は母と由緒長い家系に育ち、父は元々大工の職人に代わり、モックを所に入っていることが、だめとされた。男は、男は男としてあるべき。石原、家事はわたられたやうに。  
落合、職場で女性とは、男女不得意なことをしている。仕事も違わない。  
長尾、医療の現場では女性の看護者が少しずつ増えている。同じユニバーサル・デザイン。若菜、若菜中学校的には24年ぶりのジェンダー平等の制服だった。出席番号が女児混合あいうえお順だ。  
横野、学校で、無理に女子にスカートをかきよめるのはむづかしい。  
稲田、組織なのでよく女性の意見が天

切にたいたいされるか。得親は仕事ま  
じめ、女が女性にふようた。  
岩田 会社の工場では見習い休業を取  
得る男性がごく、さへ多い。  
二番 子育ては女性がと決めのけ  
ないところが大事。男性の見習休業を  
したい。  
大月 会社では昔、女性の結婚退職が  
多かった。今女性が経済的に自立し、  
結婚しない選もある。たゞ少子化大  
きな懸念だ。社会の一員としてお互い支  
え合い、子どもを協力してつくるビ  
リーグ（心から幸福を暮らす）な地  
域をつくることが大切。  
川久保 性別や体格で区別は不要  
だが僕は平均であるべき。また大衆  
は村会合は平均コンシャスバブス（無知識  
の思い込みや見解）をもつていた。  
無知に男や女、女らしさを求めるこ  
とがある。LGBT（性別少数者）の方  
々も、自分らしくやすすぐな人ば  
い。若くは、自分を知り、人は自分  
が、自分であること、男も女も  
長縄、女性性更年期など、特有のこ  
とある。一昔前男女平等というのはなく  
お互いの理解深め、配役や尊重にな  
る。岩田 自分性を主張でき、他人の性  
も認められようになった。他人の性  
を立てた女性の本音とさう、男を不  
立てて、女性はおかしき女があつて  
いるのかもしれない。お互いを尊重で  
社会にたいは気持よく長く暮らせる。  
三番 昭和は性別の人が多い。おれ  
急がずにジェネレーションズを目標  
にしたいと思つて。  
岩田 映画でと心の人が一致しない  
学校の際に、男塾生を演じた。男  
子企業など、男塾生で理解を深め  
ることに取り組むべき。



# キャッシュレス・市民ポイント推進事業

CENTRAL 真  
GARDEN 庭  
MANIWA 市



## 「まにこいん」普及のための取組

行政・金融・商工会等地域の多様な主体とともに、デジタル地域通貨「まにこいん」を活用し、①地域内経済循環の強化・経済圏確立(経済的価値の創造)、②健康増進・共助推進・行政サービス提供等スーパーアプリ化による市民のウェルビーイング・効率的な行政経営の実現(非経済的な価値の創造)を目指すものです。

### ■令和6年度運用実績

ユーザー数 : 24,783      +3,823 / 年      加盟店数 : 251      +22 / 年  
総流通量 : 397,416千円      +262,490千円 / 年      加盟店売上 : 387,528千円      +210,535千円 / 年

※R7年度目標20,000ユーザーを大きく突破し、人口比6割超に到達

### 【主な事業】

#### ■地方税統一QR(eL-QR)対応税目追加

・固定資産税、軽自動車税、自動車税種別割に加えて住民税・国民健康保険税に対応

#### ■チャージポイントの拡充

・ローソン銀行ATMでチャージ可能（地域通貨全国初対応）

#### ■キャンペーン等普及推進事業の実施

- ・チャージキャンペーン 期間中総チャージ額 34,943千円
- ・暮らし応援・事業者応援キャンペーン 発行ポイント数3,236千Pt
- ・森の芸術祭&暮らし・事業者応援キャンペーン 発行ポイント数2,977千Pt
- ・まにあぶりリリースキャンペーン（継続中）

#### ■スーパーアプリ「まにあぶり」の実装

・ポータル機能を備えたスーパーアプリの実装（1/27リリース）

#### ■市民サポート体制の構築

- 1.郵便局での拠点サポート 市内21局 計136件
- 2.高齢者向けスマホ教室等開催 MIT 計17回 シルバー人材センター 計14回

#### ■現地決済型ふるさと納税機能の実装

・交流人口や外資獲得のため、返礼品をまにこいんポイントとした現地決済型ふるさと納税機能実装（3/31リリース）





# 真庭市観光戦略推進事業

CENTRAL 真  
GARDEN 庭  
MANIWA 市

## 企業版ふるさと納税（人材派遣型）を活用した人事交流

### 企業版ふるさと納税（人材派遣型）

【派遣元企業】

両備ホールディングス株式会社

人事交流



岡山県真庭市

地域の稼ぐ力を引き出し「回る経済」を実現するため、観光振興に専門的知識とノウハウを有する企業の人材を受け入れ

派遣



一般社団法人 真庭観光局  
（観光地域づくり法人（DMO））

### 【人脈・ノウハウの活用】

- 滞在型旅行商品の開発
- 販売ルート支援
- コロナ禍における新たな観光振興政策の企画

### 【人事交流の成果】

- 新たな観光コンテンツの創出
- 地域資源を活用した地域が稼げる看板商品を創出
- 地域事業者と連携した新規旅行獲得のための事業創出
- 広域的なつながりと人材育成に寄与

R6.10.21地域観光新発見事業  
観光コンテンツ造成モニターツアー



発酵ツーリズム  
@河野酢味噌製造工場



発酵ツーリズム  
@ひるぜんワイナリー

R7.2.22-24  
台湾プロモーション・営業活動



岡山フェアin高雄  
@高雄市内



旅行会社営業活動  
@台北市内

# 広域公共交通対策事業

CENTRAL 真  
GARDEN 庭  
MANIWA 市

## 事業概要

市域を超えた広域公共交通であるＪＲ姫新線やバス路線の確保維持と地域の振興につなげるため、市民に対する危機感や利用意識の醸成を目的として、事業を実施するものです。

### 【主な事業】

#### ①利用促進イベント 駅周辺の賑わいと鉄道に乗る機会を創出するためのイベントの実施 〈まに鉄フェスタ 津山-中国勝山間開業100周年記念〉

ＪＲ姫新線の津山-中国勝山間開業100周年にあわせて、記念式典や記念臨時列車の運行、美作落合駅、久世駅、中国勝山駅の駅舎や駅周辺を主会場にエコマルシェを開催しました。



津山-中国勝山間開業100周年記念式典



#### ②シン・駅舎空間創造プロジェクト

中国勝山駅の駅舎空間をひとが集う場所として魅力化を図り未来に繋げることを目的とした令和５年度からの継続プロジェクト。

県立勝山高校生、建築家等とBeLIN(「ビリン」真庭産無垢材プロダクト)を活用した協働事業です。

記念臨時列車



#### ③JR西日本株式の取得

地方鉄道をネットワークとして守るために株式を取得。株主として責任を負うことでＪＲ西日本との関係を深め姫新線の存続や利便性向上の取り組みを強く推進

オリジナル弁当



記念入場証台紙



#### ④乗車券、地域主催利用促進イベント助成

団体や社会学習に乗車券の購入費や地域イベント支援の助成

中国勝山駅 シン・駅舎空間





# 生ごみ資源化地域産業事業

CENTRAL 真  
GARDEN 庭  
MANIWA 市

## 事業概要

生ごみ資源化地域産業事業は、生ごみを分別収集し、生ごみ、し尿・浄化槽汚泥を液肥製造モデルプラントでメタン発酵し、消化液をバイオ液肥として地域農業に活用していました。令和7年1月より本格プラント「真庭市くらしの循環センター」が本格稼働し、今後は、本格プラントである真庭市くらしの循環センターを核として、地域産業と雇用の創出を目指すものです。

### 【主な事業】

#### ①一般廃棄物（生ごみ）収集運搬業務

液肥製造モデルプラントでバイオ液肥を製造するために、久世地区と落合地区の一部の生ごみを収集し、実証に利用していましたが、真庭市くらしの循環センターが本格稼働したことにより生ごみ収集を市内全域に拡大しました。

生ごみ収集を市内全域に拡大したことにより、今まで紙ベースで管理していたごみステーションを、電子システム化しインターネットで管理できるように整備しました。

○令和6年度生ごみ収集量：702 t

#### ②生ごみ等資源化施設実証施設移行業務

実証プラントから本格プラントである真庭市くらしの循環センターへスムーズに移行できるように、メタン発酵する上で欠かせない実証プラントの種汚泥を真庭市くらしの循環センターへ引継ぎました。



液肥製造モデルプラント



真庭市くらしの循環センター



生ごみ受入状況



バイオ液肥散布状況



バイオ液肥スタンド



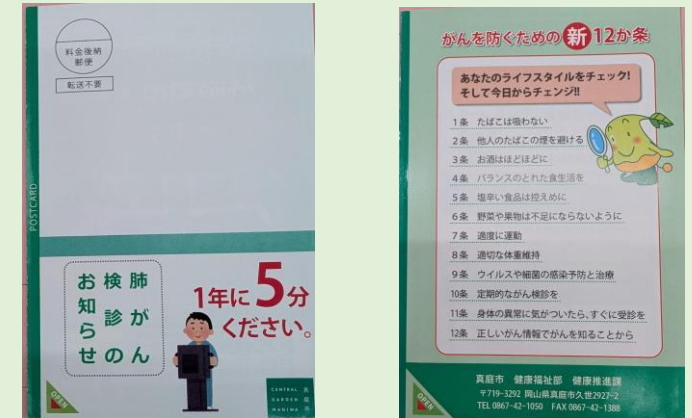
# 各種がん検診事業

## 事業概要

肺がん、大腸がん、胃がん、子宮頸がん、乳がんに加え、市独自に胃がんABC検診(リスク検診)と前立腺がんの早期発見・早期治療を目的に実施しています。多くの市民に受診していただけるよう、対象者に個別通知と地域で細やかな声かけによる受診勧奨を今後も継続的に行い、市民の生活習慣病予防と健康増進に向けたがん検診を実施していきます。

### <対象者>

- 肺がん検診：40歳以上
- 大腸がん検診：40歳以上
- 胃がん検診：40歳以上
- 子宮がん検診：20歳以上、女性
- 乳がん検診：40歳以上、女性
- 胃がんABC検診：40歳以上
- 前立腺がん検診：50歳以上、男性



はがきで個別受診勧奨



胸部レントゲン検診



子宮頸がん・乳がん検診



# 健康サポート事業

CENTRAL 真  
GARDEN 庭  
MANIWA 市

## 【事業概要】

第2次真庭市食育・健康づくり計画、第3次真庭市総合計画に基づき、各種団体と連携のもと市民の健康づくりと幸せづくりに向け取り組むものです。

(主な取組)

- ①まにこいんアプリ健康管理（ヘルスケア）機能利用促進
- ②まにこいん健（検）診ポイント
- ③健康づくりチャレンジ30日
- ④スポーツ・運動施設と連携した健康づくりイベント



### まにこいんアプリ健康管理（ヘルスケア）機能利用促進



**目指せ!!チームで1日8,000歩**

**まにわ大運動会**  
1日歩数プラス**1500歩**

※まにこいんアプリヘルスケア機能の歩数機能を活用して、朝・昼・夜と3回アプリを開き、歩数を記録。1日合計1500歩プラスの歩数を記録すると、まにこいん健（検）診ポイントが1ポイント付与されます。

**1事業所・団体あたり最大25チームを上限とします**

**参加チーム大募集!**

市内在住・在勤者  
最大130チーム(1チーム3人)  
※1チーム1人あたり1ポイント付与されます。

令和6年9月24日(火)まで  
令和6年10月1日(火)～10月30日(水)

※事業所・団体名・氏名・年齢・住所・まにこいんアプリヘルスケア機能の歩数機能を活用して、朝・昼・夜と3回アプリを開き、歩数を記録。1日合計1500歩プラスの歩数を記録すると、まにこいん健（検）診ポイントが1ポイント付与されます。

※1日8,000歩プラスの歩数を記録したチームは、まにこいん健（検）診ポイントが1ポイント付与されます。

【主催】真庭市 【協力】日本生命 岡山支店、佐賀支店（実行）



・まにこいんアプリ健康管理機能登録者数 14,185人（対人口比34.95%） ※R6年度末時点

・参加チーム数130チーム（390人）  
・参加者の平均年齢47.1歳

### まにこいん健（検）診ポイント付与

健診・検診を受けて「おトクに!健康に!」  
**まにこいん**をもらおう

真庭市では、今年度中に健康診査やがん検診などを受けた市民の方を対象に、まにこいんポイントを付与しています。これを機会に、定期的に健診・検診を受けて、ご自身の健康管理に役立ててください。

対象となる健診・検診

●がん検診 ①～⑥番、まにこいんポイント100

① 胃がん検診（レントゲン・内視鏡・ABC検診いずれでも可）  
② 結核・肺がん検診  
③ 大腸がん検診  
④ 乳がん検診  
⑤ 子宮頸がん検診

●健康診査 ⑦～⑨番、まにこいんポイント100

⑦ 国民健康保険の特定健康診査および人間ドック  
⑧ 後期高齢者健診  
⑨ 総合がん検診、健康保険組合・共済組合等の特定健康診査および人間ドック

※詳しくは、健診・検診を受けた自治体の窓口で確認ください。

まにこいんポイント申請方法 ①～④番は、健康ポイント付与システムで申請できます。

1. 電子申請フォームを読み込む  
2. 電子申請フォームに必要項目を入力する  
3. 登録した健診（検診）結果の登録日・氏名がわかる画像を添付する

※申請日からポイント付与まで3～4週間かかる場合があります。

※提出先・問合せ  
真庭市役所 健康推進課 (0867) 42-1050 FAX (0867) 42-1388

・711人申請あり  
・R7から内容を拡充

### 健康づくりチャレンジ30日

一般用  
令和6年度

**健康づくり**  
チャレンジ**30日!**

10月1日から10月30日までの30日間、自分で考えた目標を、自分のペースで取り組み、健康的な生活習慣やからだづくりを目指しましょう

参加方法

1. チャレンジしたい目標を選択（最大3つまで）

① 1日の歩数を記録する  
② ウォーキング  
③ 朝食を食べる  
④ ラジオ体操  
⑤ 体操をする  
⑥ 運動機がけ  
⑦ 野菜を一品増やす  
⑧ 自分で考えた目標

2. 裏面の目標の欄に番号①～⑧を記入  
3. できた日、数値（歩数、食事量など）を記入  
4. 住所・氏名・年齢などを記入  
5. 用紙を提出

提出方法

■提出先・問合せ  
真庭市役所 健康推進課 (0867) 42-1050  
または 各振興局

■提出期限  
令和6年11月13日(水)

主催 真庭市食育・健康づくり推進委員会

・参加者数3,665人（市民の9.0%が参加）  
・幼児から高齢者まで参加

### スポーツ・運動施設と連携した健康づくりイベント

**まにわ 体育祭**  
負けられない戦いがここにはある

**賞品**

優勝 **18,000円**  
準優勝 **15,000円**  
第3位 **12,000円**

2025年  
**1月26日(日)**

場所 白梅総合体育館（真庭市下市瀬586-3）  
時間 9時～受付 9時30分～開会式 13時終了予定  
対象 市内在住・在勤の18歳以上の3～5名で構成されたチーム  
定数 30チーム  
参加費 1チーム 1,500円  
申込み QRコードから  
受付期間 令和6年12月9日(月) 9時～  
令和7年1月17日(金) 17時まで  
(定数になり次第締め切りです)

公益財団法人  
真庭スポーツ振興財団  
お問い合わせ先 0867-42-1177

・働く世代の参加が多く、企業チームの参加も多数あり  
・23チーム（80人）が参加



## 事業概要

### ■事業の目的

県立高校の再編整備に伴い閉校となる岡山県立真庭高校久世校地の利活用について「まちづくり」、「第一次産業の振興」及び「学びや子育て」などの拠点整備を目指しています。具体的には、産官学連携による「林業・木材・木造建築教育・研究ゾーン構想」の推進により実現を目指す農林業等の地域産業の振興及び学びや子育てによるまちづくりの将来像を踏まえたエリア化を図ります。加えて、事業化にあたっては、民間のノウハウ・ご提案を最大限活用した公民連携事業とし、将来にわたって持続可能な新たなビジネスモデルの構築します。

### ■敷地概要・計画条件

敷地面積	71,729㎡
用途地域等	第一種住居地域 容積率：200%、建蔽率60%
既存施設	校舎： 11,592 (㎡) 屋体： 1,919 (㎡) 付帯： 509 (㎡) 寄宿舎： 256 (㎡) 計： 14,276 (㎡)

## 現状把握

### 市民アンケート

真庭市の20～30年後を見据えた未来づくりの拠点として久世校地の利活用することが重要となります。市民に愛される拠点とするために、早期に本事業を市民に広く周知し、意見を把握するため、市民アンケート調査を実施しました。

久世校地がどのような場所になることが望ましいか：市民・高校生ともに「**誰もが気軽に訪れることができる拠点**」の回答が50%を超えており、多くの人が集う場への活用が望まれています。

久世校地でどのような分野に力を入れてほしいか：「**公共機能**」（**交流・活動の拠点**）「**教育・研究**」「**子育て**」の回答が75%を超え高い関心がうかがえました。

### 市民ワークショップ

コンセプトに対する意見や、具体的な導入機能を確認するため、参加者を公募選定し、市民ワークショップを行いました。  
各グループから**農業のほか、子育てや教育・研究や、世代を超えて学ぶ・交流できる場**に関するアクションプランが多数挙がりました。

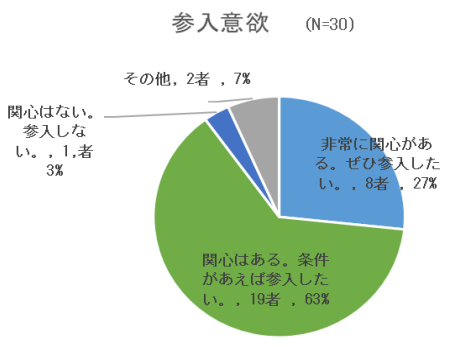
分野	挙げたアクションプラン（抜粋）
農業	久世校地の農地や施設、校舎を利用して農業後継者の育成と農業支援センターを作り、地域の農業振興拠点とする
子育て	子育て世代が快適、安全、経済的に暮らせるZEH住宅(木造)をつくって子育て世代を集める
教育研究	真庭大学的な場として年齢関係なく学びあえる場とする 教育設備を活かして企業などの実験スペースとして活用
その他	久世校地で地域のエネルギーをまかない、エネルギー源の未来永续性（リサイクル等）を先端研究する場にもする

### 事業者ヒアリング

次の5つのゾーンについてその妥当性や現在の事業者が抱える課題、事業への参入意向を確認するとともに、新たな導入機能の可能性についても確認し、令和6年度の調査・検討に反映させるため、産官学の事業者および関係団体約30者を対象に、ヒアリング調査を実施しました。

No	ゾーニング名	対象団体名
1	林業・木材・木造建築教育研究ゾーン(11者)	岡山大学、清水建設、秋田県立大学木材高度加工研究所、岡山県森林研究所木材加工研究所、銘建工業、建材試験センター西日本試験所、岡山県立大学、河崎技術士事務所、真庭森林組合、真庭木材事業協同組合、山下木材(株)
2	脱炭素・再生可能エネルギーの普及のためのゾーン(3者)	真庭市環境課、真庭市林業・バイオマス産業課、大和ハウス工業
3	未来の里山ゾーン(3者)	真庭商工会、(株)ティーツー、eek(株)
4	農業の活性化や地域の魅力に触れるゾーン(7者)	(株)オール真庭、真庭農業普及指導センター、農事組合法人 寄江原、真庭市農業振興課、真庭あぐりガーデン、丹後王国ブルワリー、サンマルクイノベーションズ
5	全体(6者)	真庭観光局、NTT西日本、中国銀行、山本国際コンサルタンツ合同会社、オムロンソーシアルソリューションズ(株)、サイバードイン(株)

「ぜひ参入したい」「条件があれば参入したい」と回答した事業者が90%を占め、**総じて事業に対する関心の高さが確認できました。**  
「参入しない」と回答した事業者も、事業主体としてではなく、アドバイザーとして検討段階への関与などは可能との意見をいただいています。



# 久世校地の利活用方針

## コンセプト

### 基本目標 (将来像)

### 『多彩な真庭の豊かな生活』 第2次真庭市総合計画

### 真庭市の 課題

- 真庭市では、**木材・木造建築に関する実地の知見・技術を集積し、教育・研究拠点を整備**することで地域内経済循環を強化、少ない財源・人員でも行政サービスの質を確保できる環境の整備、**高付加価値化による地域の魅力向上を図り持続可能な中山間モデルを創造**することが課題です。そのためには**地域の人と関係する人が共に助け合う新たなコミュニティの場やあり方を創造**することが期待されています。
- 能登半島地震の災害を受け、真庭市久世エリアの老朽化した公共施設集約・再編のほか、**情報発信、防災機能も有する拠点整備による都市機能の向上**が求められています。

### 久世校地 に関する 市民・ 事業者の 声

【市民の声】 **誰もが気軽に訪れることができる拠点、子育て支援や教育・研究としての整備を望む声が多く、地域の農業振興拠点とし、年齢を超えて学び合える場**とすることや**実験スペースとしての活用**の提案がありました。

【事業者の声】 林業・木材・木造建築教育研究について11者、農業の活性化や地域の魅力に関して7者と事業者ヒアリングに応じていただき、**林業・木材・木造建築や農業に関心が高いことがわかりました。多くの民間企業・団体(30者)にヒアリングを実施した結果、90%の事業者から本事業に関心があるとの回答を得ました。**



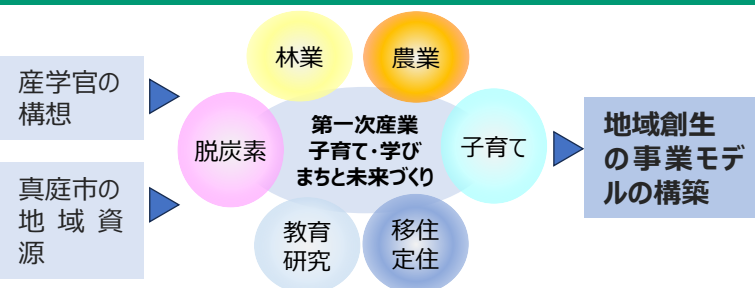
## コンセプト

## 真庭の多彩な人材が交流し学び合うインクルーシブスクエア

## 事業モデルの概要

コンセプト実現にあたっては、産学官の連携や地域資源の活用を図り、事業モデルを構築します。

## 産学官の構想と真庭市の地域資源を活用した事業モデル構築



## 導入機能

事業モデルに示した6つのゾーンを基に、それぞれの導入機能区分及び概要を次のとおり検討しました。

No	導入機能名	概要
1	林業・木材・木造建築教育研究ゾーン	林業・木材・木造建築に関する教育研究の拠点
2	脱炭素・再生可能エネルギーの研究・開発・情報発信ゾーン	脱炭素・再生可能エネルギーに対応した施設で学び、集い憩える場
3	未来をつくる交流ゾーン	既存の校舎を活用した、子育て・教育・交流・研究・産業・DXの拠点
4	農業の活性化や地域の魅力に触れるゾーン	農業の担い手育成や農林産物の6次産業化など、農と食の学びと体験の場
5	こどもはぐみゾーン	久世保育園・久世第二保育園の機能を集約し、再編した公立こども園
6	若者や移住者の住まいのゾーン	若年世帯や子育て世帯を対象に提供する手頃で優良・安心な住宅、地域コミュニティ

林業・木材・木造建築教育研究ゾーン	農業の活性化や地域の魅力に触れるゾーン
① ・木材の構造実験・研究に関する実験施設	① ・最先端農業の研究・開発・情報発信施設
② ・木材の耐火試験・研究に関する実験施設	② ・有機資材やICTを活かした土づくり施設
③ ・来訪者の滞在場所(休憩・宿泊棟、食堂等)	③ ・農業後継者のための研修施設
④ ・サテライトキャンパス	④ ・農業支援センター
脱炭素・再生可能エネルギーの研究・開発・情報発信ゾーン	⑤ ・食品加工支援センター
① ・脱炭素・再生可能エネルギー関連企業による研究・開発・情報発信施設	⑥ ・農家や敷地内農場、施設で製造した加工品の直売場
② ・太陽光発電設備、蓄電池等を備え、災害時にも活用できる施設	こどもはぐみゾーン
③ ・EV（電気自動車）充電設備	① ・園舎
④ ・公園、芝生広場	② ・園庭とともに利用できる市民の憩いの広場
未来をつくる交流ゾーン	③ ・久世地区こども園給食共同調理場
① ・交流フィールド：里山カフェ	④ ・職員、保護者駐車場
② ・研究フィールド：研究、交流・展示スペース	若者や移住者の住まいのゾーン
③ ・産業フィールド：起業支援スペース、シェアオフィス	① ・共同賃貸住宅
④ ・DXフィールド：人材育成、ワークシェア、E-sports	② ・戸建住宅
⑤ ・教育フィールド：サテライトキャンパス、共用学習スペース	③ ・集会所
⑥ ・教育フィールド：体育館（仮移転）、公民館（仮移転）	④ ・児童公園
	⑤ ・家庭菜園等、交流を促す施設



先導的官民連携推進事業に採択

本事業は国土交通省の令和6年度先導的官民連携支援事業に採択（令和6年4月3日）され、**公民連携での事業推進のための調査を令和6年度に実施。**

■令和6年度の調査内容

・前提条件整理

関係法令・上位関連計画の整理、先行事例の整理等

・施設計画の検討

計画条件、導入機能、管理運営方針、モデルプランの作成

・事業実施に向けた課題と公募スケジュールの検討

・市場調査の実施

市場実施計画の検討、市場調査の実施、結果取りまとめ

・事業スキームの検討

業務範囲の検討、事業手法・スキームの検討、  
官民リスク分担の検討、VFMの検討、総合評価

事業スケジュール

事業化に向け、令和6年度は公民連携事業の導入可能性調査等を実施し、次年度以降の事業具体化に向けた検討を進めました。

第1段階	第2段階	第3段階		
R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)	R9年度 (2027)
基本方針 策定	公民連携事業 導入可能性 調査等	事業具体化に向けた検討を進める		

事業スキーム

公民連携手法の採用を念頭に、各エリアの導入機能案やゾーニングに基づき、それぞれ最適な事業スキームについて検討します。

事業手法	設計建設	管理運営	整備費負担	資金調達	施設所有	床の財産区分
土地売却	公共	民間	民間	民間	民間	民間所有
定期借地	民間	民間	民間	民間	民間	公共所有
PFⅠ (コンセッション)	民間	民間	公共又は 民間	民間	民間	公共所有
PFⅡ(BTO)	民間	民間	公共	民間	公共	公共所有
従来手法	公共	公共	公共	公共	公共	公共所有

事業推進体制

これまで、「真庭市岡山県立真庭高校久世校地利活用検討会議」を令和5年7月より設置し、産学官連携で、久世校地の利活用の方向性について検討を行ってまいりました。

真庭市岡山県立真庭高校久世校地利活用検討会議 構成団体

真庭市（関係各課）、岡山大学、中国銀行、河崎技術士事務所、NTT西日本岡山支店、地域創生Coデザイン研究所、丹後王国ブルワリー、岡山県美作県民局地域づくり推進課、岡山県農林水産総合センター森林研究所木材加工研究室

今後の事業推進にあたっては、計画段階と、開発・管理運営段階に分けて適切な体制構築を行います。

計画段階は、設置済みの検討会議を発展させた産学官連携組織（協議会等）を組成し、計画検討を進めることを想定します。

開発・管理運営段階は、産学官連携組織（協議会等）などを法人化し、民間事業者へ委託する業務範囲等の検討・発注等を行う事業マネジメントを行うことで、事業の持続性に配慮した検討を行います。

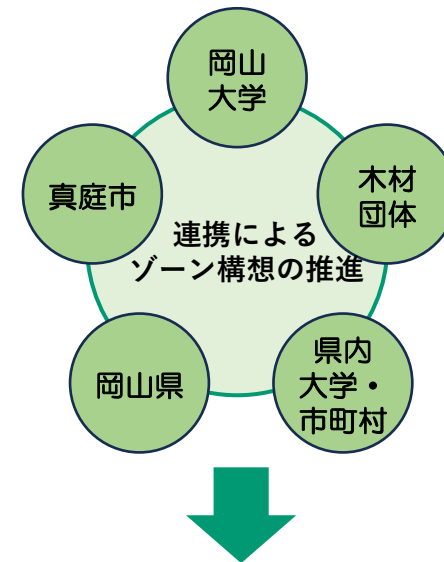
「林業・木材・木造建築教育研究ゾーン構想」推進体制

■これまでの検討経緯

令和2年7月に「林業・木材・木造建築教育研究ゾーン構想検討委員会」を設立、令和4年4月に岡山大学がグリーンイノベーションセンターを開設、令和4年9月に岡山大学と真庭市が「包括連携協定」を締結し、上述の「真庭高校久世校地利活用検討会議」を令和5年度に設立し「真庭市」をフィールドに「林業・木材木造建築教育研究ゾーン構想」が検討されてきました。

■「林業・木材木造建築教育研究ゾーン構想」の推進体制

これまでの検討経緯を踏まえ、真庭高校久世校地跡地をフィールドに岡山大学、真庭市が中心となり、岡山県、県内の大学、県内の市町村、木材団体等の産学官が連携し、高層木造建築の人材育成や新木質材料の研究開発などを担う木造関係の教育研究拠点の構築を目指していきます。

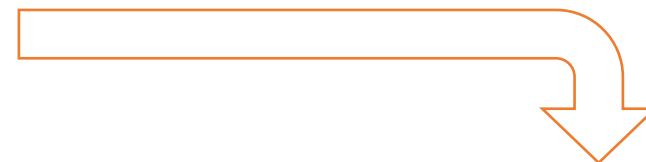


「林業・木材・木造建築教育研究ゾーン構想」の実現

## 真庭市ホームページ



ページ下部に企業名・寄付額を表記



### 真庭市における企業版ふるさと納税（地方創生応援税制）

印刷ページ表示 大きい文字で印刷 記事番号：0027344 更新日：2023年6月30日更新

### 企業のチカラを地域のチカラに

地方公共団体が実施する地方創生への取り組みに対して、民間企業のみなさまからの寄附を活用させていただく制度です。

・【内閣府】企業版ふるさと納税リーフレット＜外部リンク＞

・【真庭市×SDGs】真庭市SDGsモデル事業紹介リーフレット [PDFファイル/1.45MB]

※企業版ふるさと納税(地方創生応援税制)によりご寄附いただく場合、令和2年度(2020年度)から控除割合が寄付額の最大約9割まで引き上げられました。

### 真庭市の取組

### ご寄附いただいた企業の紹介

2024年度	株式会社テイソー 700万円 <a href="https://www.tay2.co.jp/">https://www.tay2.co.jp/</a> <外部リンク>
	成羽ポートリー株式会社 500万円
	テス・エンジニアリング株式会社 300万円 <a href="https://www.tess-eng.co.jp/">https://www.tess-eng.co.jp/</a> <外部リンク>
	山本鋼業株式会社 100万円 <a href="https://www.yamamoto-steel.com">https://www.yamamoto-steel.com</a> <外部リンク>
	岡山ダイハツ販売株式会社 100万円
	株式会社新興製作所 10万円 <a href="https://www.sinko-fh.co.jp/">https://www.sinko-fh.co.jp/</a> <外部リンク>
	タレントスクエア株式会社 10万円 <a href="https://talentsquare.co.jp/career/corp/">https://talentsquare.co.jp/career/corp/</a> <外部リンク>
	株式会社トンボ 100万円
	NONENTROPY JAPAN 株式会社 100万円 <a href="https://nonentropy.jp/">https://nonentropy.jp/</a> <外部リンク>
	両備ホールディングス株式会社 672万2,487円 <a href="https://www.ryobi-holdings.jp/">https://www.ryobi-holdings.jp/</a> <外部リンク>
	株式会社大成コンサルタント <a href="http://www.taisei-so.co.jp/">http://www.taisei-so.co.jp/</a> <外部リンク>
	日本生命保険相互会社